

中学や高校の保健・体育の時間って、あまり記憶になかったようです。残っているのは、レクリエーションは余暇の善用、法定伝染病という言葉程度です。現在、世界中を襲っている感染症、言葉自体なかったようです。伝染病・感染症は、細菌、ウイルスによって引き起こされます。

感染症の感染経路はさまざまです。

感染者の咳やくしゃみによって唾などの飛沫（ひまつ）を吸い込んでしまう「飛沫感染」や、ドアノブなど感染者が触れたモノに触れることでウイルスが付着する「接触感染」など。ほかにも、動物や虫、食べ物などを媒介して、瞬く間に被害を拡大する恐ろしい感染症。過去には、結核やマラリア、エボラ出血熱などが流行し、多くの人々が被害にあってきました。

細菌は「細胞を持っている」「栄養を摂取し、そこからエネルギーを生産している」「細胞分裂を繰り返し、生存・増殖する」などの理由から生物であると言うことができ、ウイルスより大きく、光学顕微鏡によって観察することができます。

<細菌が原因となる代表的な感染症>

百日咳・結核・梅毒・コレラ・ジフテリア・マイコプラズマ肺炎・赤痢・溶連菌感染症・O157 などの腸管出血性大腸菌感染症。

ウイルスは、生物と似たような構造を持っているものの、「細胞がない」「栄養を摂取したり、エネルギーを生産しない」「自力で動くことができない」「単体では自力で増殖できない」などの理由から完全に生物であるとは言い切れないという見方をされています。ウイルスは細胞がなく、細菌よりさらに単純な構造をしています。

<ウイルスが原因となる代表的な感染症>

風邪・インフルエンザ・水疱瘡・おたふくかぜ・麻疹・風疹・ウイルス性肝炎（A 型・B 型・C 型）・デング熱・エボラ出血熱。

原因となる病原体や感染経路が異なるため、予防方法はそれぞれ異なりますが、感染症のもつ

とも基本的な予防対策は、手洗い・うがい・マスクです。そして、情報が氾濫する現代においては、正しい情報に基づき落ち着いて行動することが大切です。